

**健康長寿に係るイチオシ事業**  
**越生町**  
**～腎臓病・糖尿病重症化予防事業～**

**(1) 事業概要**

越生町では、糖尿病・腎臓病発症予防のため、特定健康診査において糖尿病・腎臓病の検査結果で受診勧奨対象者に対し、家庭訪問による保健指導・医療機関への受診勧奨を行い、早期受診を促している。また、腎機能低下が軽度～中等度の者に対しては、腎臓病重症化予防教室を実施している。

**(2) 契機**

**(ア) 取り組みの経過**

平成 22 年度より糖尿病受診勧奨訪問事業として、特定健康診査の結果から、一定の基準に該当した者に対して、保健師が家庭訪問をし、保健指導と医療機関への受診勧奨を実施していた。その後、平成 23 年度からは、腎臓病・糖尿病受診勧奨訪問事業とし、慢性腎臓病等発症予防も含めた訪問事業を実施した。

平成 26 年度以降は、腎機能の指標を、eGFR60 (ml/分/1.73 m<sup>2</sup>) 以下を対象として訪問を実施することとした。しかし、医療機関へ受診すると、「食生活習慣に気をつけてください。今のところ治療の必要はありません。経過観察していきましょう。」と指導され、それ以上の保健指導を受けることもなく終了となる場合がほとんどであった。そのため、本事業の本来の目的である腎臓病重症化予防に効果的に働いているのか見えにくい状況となっていた。そこで、腎機能低下が軽度～中等度の者については、直ぐに生活に取り入れられる実践的な支援が必要と考えた。

以上のことから、平成 30 年度からは、糖尿病・腎臓病受診勧奨訪問事業の対象者のうち直ちに受診・治療が必要と思われる者については、従来通り保健師の訪問による保健指導と受診勧奨を実施し、腎機能低下が軽度～中等度の者に対しては、訪問指導に変え腎臓病重症化予防教室を実施することとした。

**(イ) 腎臓病・糖尿病に関する医療費が高い**

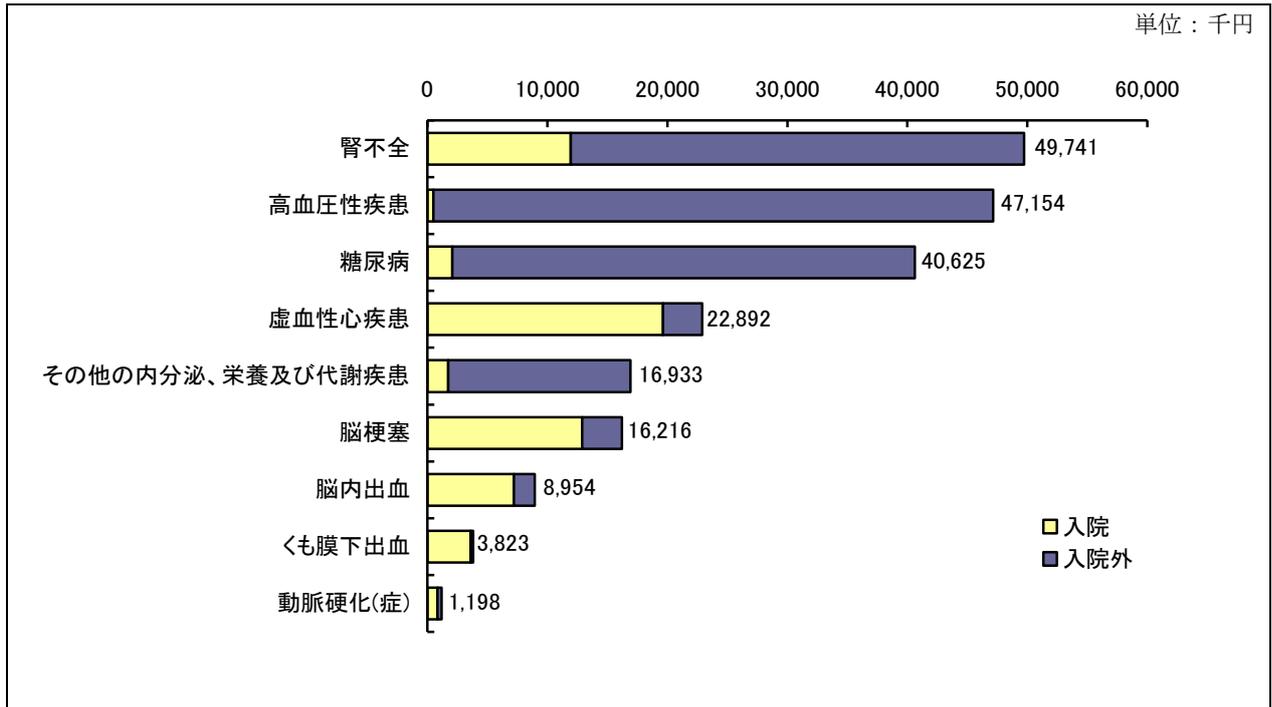
生活習慣病の疾病別医療費（入院・入院外）では、「腎不全」が最も高く、次いで「高血圧性疾患」、「糖尿病」と続いており、この 3 つが他の項目に比べて特に高くなっている（表 1）。

入院外の生活習慣病について、レセプト 1 件当たり医療費を疾患別にみると、腎不全が 282,070 円で、群を抜いて多くなっている。また、入院外の腎不全は、受診者が少ないにもかかわらず、レセプト 1 件あたりの医療費が高いために医療費全体を押し上げている（表 2）。

これらのことから、特に腎臓病重症化予防に重点を置いた対応をすすめる必要がある。

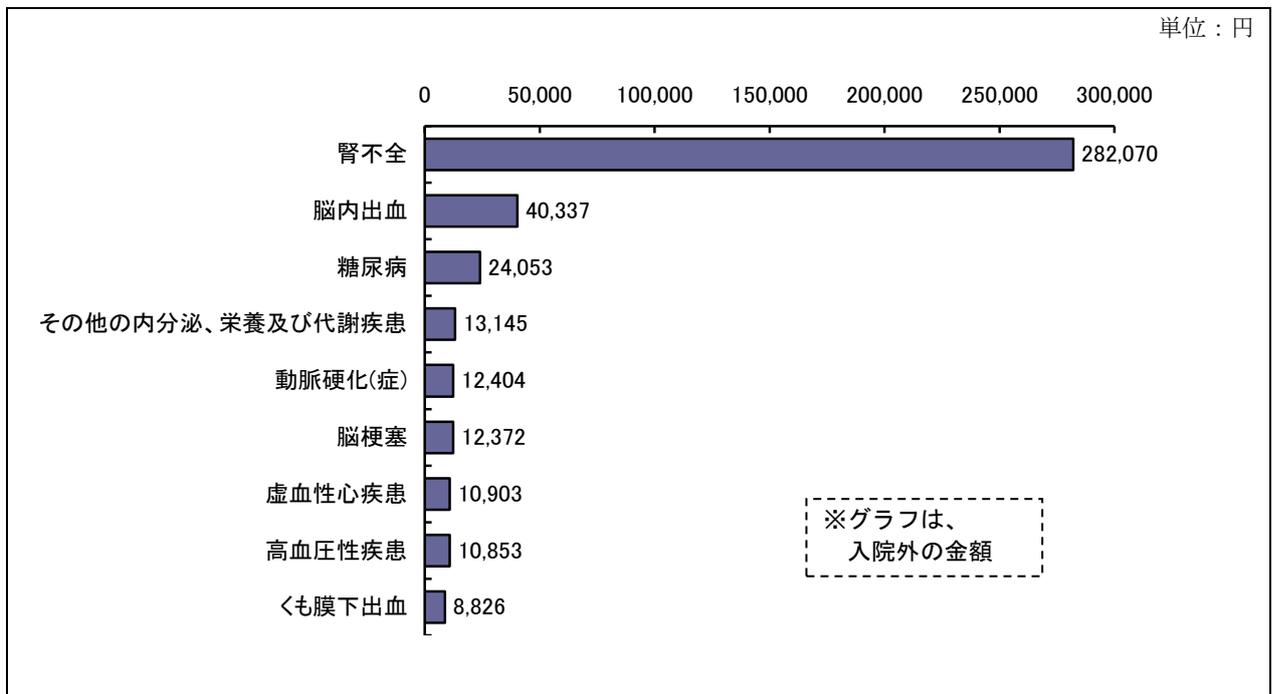
様式 1

■表 1 生活習慣病の疾病別医療費（入院・入院外、2016（平成 28）年度）



資料：町民課（レセプトデータを分析）・第 2 期越生町保健事業実施計画（データヘルス計画）より

■表 2 主な生活習慣病のレセプト 1 件当たり疾病別医療費（入院外、2016（平成 28）年度）



資料：町民課（レセプトデータを分析）・第 2 期越生町保健事業実施計画（データヘルス計画）より

様式 1

(3) 内容

事業名	腎臓病・糖尿病重症化予防事業
事業開始	平成 22 年度より糖尿病受診勧奨訪問事業 平成 30 年度より腎臓病重症化予防教室（腎臓にやさしい食事教室） 令和元年度よりフォローアップ教室
事業概要	<p>糖尿病・腎臓病発症予防のため、特定健康診査糖尿病・腎臓病の検査結果、医療機関の受診が望ましいものについて、家庭訪問による保健指導、医療機関への受診勧奨を行う。</p> <p>また、腎機能低下が軽度～中度のものについては、直ぐに生活に取り入れられる実践的な支援を行うため、腎臓病重症化予防教室（腎臓にやさしい食事教室）を実施する。</p> <p>腎臓病重症化予防教室の過去参加者については、腎臓病重症化予防フォローアップ教室（腎臓にやさしい食事フォローアップ教室）を実施する。</p>

	令和 2 年度予算	令和元年度決算
予 算 決 算	70,010 円 ・講師謝礼 60,000 円 ・教材費 8,360 円 ・リーフレット 1,650 円	68,360 円 ・講師謝礼 60,000 円 ・教材費 8,360 円
訪問対象	未定	対象者 22 名
訪問期間	令和 3 年 1 月～3 月	令和元年 9 月～12 月
体制(訪問)	保健センター 保健師 3 名	保健センター 保健師 3 名
教室対象	未定	対象者 85 名
教室実施日	腎臓にやさしい食事教室(予定) 令和 3 年 2 月 10 日・25 日 フォローアップ教室(予定) 令和 3 年 2 月 18 日	腎臓にやさしい食事教室 令和 2 年 2 月 20 日・27 日 フォローアップ教室 令和 2 年 2 月 13 日
体制(教室)	保健センター 保健師 2 名 大学講師(管理栄養士) 1 名	保健センター 保健師 2 名 大学講師(管理栄養士) 1 名 学生(管理栄養士養成課程) 3 名

(ア) 対象者の抽出（令和 3 年 1 月～2 月実施予定）

集団特定健康診査受診者のうち、74 歳以下のもの者を対象に実施する。後期高齢者については、本事業の対象とせず、必要時個別対応する。

県医師会の糖尿病性腎症重症化予防プログラム及び、腎疾患対策検討会報告の基準を参考に、eGFR、HbA1c、空腹時血糖の値から、以下の通り優先順位を設け対象者を抽出し、訪問による受診勧奨または腎臓病重症化予防教室（腎臓やさしい食事教室）を実施する。ただし、生活習慣病等で通院治療中の者、昨年度該当し医療機関に受診した者は本年度の訪問対象者から除外する。





## 様式 1

費の変化について、教室参加の前後の年度で比較し、事業の効果を分析する予定。  
事業の実施、効果検証は、女子栄養大学の助言を得ながら実施する。

### (4) 事業効果

本年度は事業実施中のため、昨年度までの結果を報告する。

なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、集団健診の時期が変更となったため、令和2年12月現在、対象者抽出ができていない。

#### (ア) 訪問による受診勧奨による重症化予防効果

訪問指導により医療機関への受診が促され、早期治療により重症化予防に効果が期待できる。

年度毎の訪問件数について

年度	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
訪問件数 (延人員)	12	21	15	8	7
年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
訪問件数 (延人員)	4	61 (実人員58)	99 (実人員56)	47 (実人員47)	22 (実人員13)

※越生町行政報告書より掲載。年度を越えて訪問した場合、訪問実績は翌年度に計上。

訪問により指導した者のみ掲載。訪問対象だが、面接により指導した者は数値に含まれない。

令和元年度訪問指導対象者22名の内訳（訪問・面接指導を含む）

訪問結果：受診済み8件、通院中0件、受診勧奨10件、不在メモ3件

受診結果：異常なし4件、経過観察6件、治療継続2件、要治療2件、  
結果連絡無し8件

#### (イ) 腎臓病重症化予防教室（腎臓にやさしい食事教室）による重症化予防効果

2日間の教室により、健康診査の結果からeGFR、尿たんぱくを探しチェック票に記入することで健康診査の結果を判断する方法習得し、また自身の生活を振り返り、生活上の具体的な目標設定を行う等のワークを実施した。

はじめは、腎機能の数値がどこに書いてあるのかも分からない参加者が多い中、教室終了時に実施したアンケートでは、腎臓の働きや数値の見方について理解された方が多かった。正しい知識を身につけることで、生活を改善し重症化予防の効果が期待できる。

令和元年腎臓病重症化予防教室（腎臓にやさしい食事教室）アンケート結果

16名参加（2日目に実施。12名回収）

## 様式 1

### ・腎臓の機能について

血液をろ過して、いらぬものを尿として排出することが分かった。

分かった	だいたい分かった	分からない	未回答
9	2	0	1

血圧、血液の生産、骨の代謝など、重要な調整をしていることが分かった。

分かった	だいたい分かった	分からない	未回答
10	0	0	2

### ・健診結果の見方について

eGFR と尿たんぱくの値を健康診断結果から見つけることができるようになった。

できる（この教室の資料を見れば出来ると思う）	できない（忘れた場合には、保健センター保健師にご相談ください）	未回答
11	1	0

eGFR と尿たんぱくの値を慢性腎臓病（CKD）重症度分類に当てはめて、確認することができるようになった。

できる（この教室の資料を見れば出来ると思う）	できない（忘れた場合には、保健センター保健師にご相談ください）	未回答
11	1	0

### ・腎臓にやさしい食事教室全体についての感想

理解度について

よく分かった	だいたい分かった	分からない	未回答
8	4	0	0

満足度について

参加して良かった	ふつう	良くなかった	未回答
12	0	0	0

今後の生活に役立つ内容だったか

役立つ	役立たない	分からない	未回答
11	0	0	1

### ・今後の参加希望

今後もこのような教室があったら参加したいですか。

参加したい	参加希望なし	未回答
9	3	0

## （ウ）腎臓病重症化予防フォローアップ教室（腎臓にやさしい食事フォローアップ教室）による重症化予防効果

昨年度教室の教室参加者が対象となっており、2年目と言うことで、塩分計算等のワークも苦戦されていたが、スタッフの励ましにより全員記入することができていた。参加者同士で仲間意識が生まれたのか、和気藹々とした雰囲気でも実施できた。

## 様式 1

一度得た知識であっても、時間が経つと忘れてしまいがちである。繰り返し話を聴くことで、知識の定着が期待できる。また、知識はあっても、生活を変えていく事は労力が伴うため、定期的に教室に参加し意欲を高めることは重症化予防の効果を高めるために重要と思われる。

令和元年腎臓病重症化予防教室（腎臓にやさしい食事教室）アンケート結果  
10名参加（9名回収）

### ・腎臓の機能について覚えていたこと

血液をろ過して、いらぬものを尿として排出している。

覚えていた	だいたい覚えていた	忘れていた	未回答
6	2	1	0

血圧、血液の生産、骨の代謝など、重要な調整をしている。

覚えていた	だいたい覚えていた	忘れていた	未回答
3	3	3	0

### ・健診結果の見方について覚えていたこと

eGFR と尿たんぱくの値を健康診断結果から見つけること。

覚えていた	だいたい覚えていた	忘れていた	未回答
6	2	1	0

eGFR と尿たんぱくの値を慢性腎臓病（CKD）重症度分類に当てはめて確認すること。

覚えていた	だいたい覚えていた	忘れていた	未回答
4	1	2	2

### ・フォローアップ教室に参加しようと思った理由

もう一度復習したいと思ったから	前回の教室が良かったから	身体の事が心配だったから	未回答
5	1	4	
手紙が届いたので何となく	家族・友人などに勧められた	その他	未回答
1	0	1	0

### ・腎臓にやさしい食事フォローアップ教室全体についての感想 理解度について

よく分かった	だいたい分かった	分からない	未回答
5	4	0	0

満足度について

参加して良かった	ふつう	良くなかった	未回答
8	1	0	0

## 様式 1

今後の生活に役立つ内容だったか

役立つ	役立たない	分からない	未回答
9	0	0	0

### ・今後の参加希望

今後もこのような教室があったら参加したいですか。

参加したい	参加希望なし	未回答
9	0	0

### (エ) 地方自治体にとっての効果

腎臓病・糖尿病の重症化予防することで、透析等の件数削減により医療費削減効果が期待されるが、現状医療費の分析・評価まで実施できておらず、結果は明らかにできていない。

## (5) 成功の要因、創意工夫した点

### (ア) 訪問指導により受診の意欲が高まったこと

受診の必要を感じていない方に対しては、訪問指導の対象とされたことで、受診しなければいけない状況にあると印象づけることができた。逆に、受診することが不安で受診が進まない方に対しては、本人の思いを傾聴することで、受診を促す関わりができた。

### (イ) 受診結果連絡票と返信用封筒を手渡したこと

結果を返信するようにお願いすることで、受診する動機付けにつながったと思われる。また、「返信用の封筒がもっていないから」と来所にて受診結果を報告してくれる方もおり、保健センターが相談の場であることを周知することができた。

### (ウ) 学識経験者の知見を活用したこと

教室の実施に当たっては、女子栄養大学の講師（管理栄養士）の助言を受け実施した。的確なアドバイスをいただくことで、効果的な教室運営ができた。また、今後改善すべき点や課題についても、助言をいただく事で今後の事業計画に反映することができると思われる。

### (エ) 教室案内の通知に本人の名前と数値を記載したこと

案内通知を見て、教室参加の必要性を感じて参加の申し込みがあった。申し込みの予約を電話で受付する流れであったが、案内が来た時点で、参加しなければいけない教室であると思った方がおり、当日飛び込みの参加が腎臓にやさしい食事教室は 5 名、フォローアップ教室は 2 名参加者が増えて実施となった。腎機能に注目していただけの文面により、反響があったと思われる。

## 様式 1

### (オ) フォローアップ教室を実施したこと

令和元年度からはフォローアップ教室を実施した。経年的に対象をフォローすることで、重症化予防効果が高まることが期待できる。

## (6) 課題、次年度に向けて

### (ア) 事業の効果についての検証が不十分

訪問事業については、平成 22 年より実施していたが、効果検証については行われておらず、客観的な評価がなされていない。

教室については、平成 30 年度より実施となり、女子栄養大学講師に助言を求めつつ実施している。今後経年的に対象者の健康診査結果や医療費を検証していくことで、事業の効果を明らかにしていきたい。

### (イ) 対象者について

本事業は集団健診受診者を対象に実施していたが、新型コロナウイルス感染症の流行により、集団感染を防ぐ観点から、集団健診の実施時期を変更せざるを得なくなった。そのため、今年度は健診を見送る事にした方や、個別健診として病院で健診を受診したかたが多く、対象者が減少することが考えられる。教室や訪問の対象者について、改めて検討する必要がある。

## (7) 健康寿命

年度	男	順位	女	順位
H30	17.25 歳	52 位	19.93 歳	59 位
H29	17.89 歳	18 位	20.086 歳	50 位